

事業番号	10 05 01	事業改善シート（令和3年度実施事業分） <input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検			
事業名	野生鳥獣保護管理事業	部局	林務部	課・室	鳥獣対策・ジビエ振興室
		実施期間	S33 ~	E-mail	choju@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	労働生産性				
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進				

1 現状と課題

目指す姿 これまでの取組	【目指す姿】 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律及び鳥獣保護管理事業計画に基づき、関係者が連携をしながら役割を果たすことにより、人と鳥獣との適切な関係を構築し、生物多様性の確保及び生活環境の保全、農林業被害の軽減を目指す 【これまでの取組】 ・野生鳥獣総合管理（生息調査、計画策定、捕獲支援） ・狩猟の適正化（狩猟免許、登録）				
	令和2年度点検結果 (令和元年度実施事業分) ・ 現状分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課 題</th> <th>今後の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> ・鳥類による果樹被害など被害防除が困難な被害が増加しつつある。 ・管理計画に比べてシカの捕獲数が目標値に達していない。 </td> <td> ・被害防除とともに、緩衝帯整備、不要果実の除去等の効果のある生息環境の整備などの総合的な野生鳥獣被害対策を地域とともに推進。 ・シカの生息分布の変化等の調査結果や捕獲方法の改善、高度な捕獲技術を有する技術者の育成、また持続可能な捕獲モデルの確立などによりシカの捕獲を推進。 </td> </tr> </tbody> </table>	課 題	今後の方向性	・鳥類による果樹被害など被害防除が困難な被害が増加しつつある。 ・管理計画に比べてシカの捕獲数が目標値に達していない。
課 題	今後の方向性				
・鳥類による果樹被害など被害防除が困難な被害が増加しつつある。 ・管理計画に比べてシカの捕獲数が目標値に達していない。	・被害防除とともに、緩衝帯整備、不要果実の除去等の効果のある生息環境の整備などの総合的な野生鳥獣被害対策を地域とともに推進。 ・シカの生息分布の変化等の調査結果や捕獲方法の改善、高度な捕獲技術を有する技術者の育成、また持続可能な捕獲モデルの確立などによりシカの捕獲を推進。				

2 令和3年度事業内容

補正予算のポイント・主な取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 狩猟対策事業費 ・事業費の確定による減額 ✓ 鳥獣保護管理事業費 ・入札差金による減額 ✓ 野生鳥獣総合管理対策事業費 ・入札差金及び国庫内示差による減額 ✓ 豚熱対策事業 ・国庫内示差及び事業費の確定による減額
--------------------	---

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]					No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末	R3年度目標値	事業コスト	区分(単位:千円)		
			R1年度	R2年度								R3年度		
			前年度繰越	0	0	0				事業コスト	予算額			
			当初予算	407,471	506,833	413,475								
			補正予算	0	-2,141	-53,680								
			合計(A)	407,471	504,692	359,795								
			うち一般財源	178,402	171,560	84,188								
			決算額(B)	363,310	358,661									
			職員数(人)	7.0	7.0	7.0								
成果指標設定理由	1 野生鳥獣による農林業被害対策について、農政部と連携し総合的効率的に推進するため、過去の被害減少率を参考に前年度マイナス5%を設定													

事業番号	10 05 02	事業改善シート（令和3年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検		
事業名	野生鳥獣保護管理事業	部局	林務部	課・室	鳥獣対策・ジビエ振興室

細事業No.	細事業名	R1年度 最終予算		R2年度 最終予算		R3年度 予算	
		計	千円	計	千円	当初予算	補正予算
1	狩猟対策事業費	計	16,411	計	25,728	当初予算	22,889
			千円		千円	補正予算	-300
		計		計		計	22,589
			千円		千円		千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	免許等事務費	直接	狩猟の適正化を図るため、狩猟免許試験及び狩猟者登録を実施
2	県営射撃場運営事業	委託	スキート射撃場の改修工事を実施し、老朽化している県営施設を整備
3	安全狩猟実技訓練講習	委託	狩猟時の安全確保を図るため、第一種銃猟免許保持者及びわな猟免許新規取得者に講習を実施

細事業No.	細事業名	R1年度 最終予算		R2年度 最終予算		R3年度 予算	
		計	千円	計	千円	当初予算	補正予算
2	鳥獣保護管理事業費	計	49,581	計	34,262	当初予算	43,840
			千円		千円	補正予算	-1,600
		計		計		計	42,240
			千円		千円		千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	鳥獣保護管理員の任用等	直接	鳥獣保護管理員を配置し、鳥獣保護管理業務を適正に推進するために必要な情報収集等の活動を実施
2	特定鳥獣保護管理事業	直接	専門的見地から適切な特定鳥獣保護管理計画を策定するため、特定鳥獣保護管理検討委員会を開催
		委託	野生鳥獣の科学的、計画的な保護管理を図るため、ツキノワグマ及びイノシシ生息状況等調査を実施し、生息状況、被害発生状況の把握と共に被害対策の実施状況等の解析を実施 解析結果をもとに第二種特定鳥獣管理計画（ツキノワグマ）を策定

細事業No.	細事業名	R1年度 最終予算		R2年度 最終予算		R3年度 予算	
		計	千円	計	千円	当初予算	補正予算
3	野生鳥獣総合管理対策事業費	計	211,128	計	238,797	当初予算	329,246
			千円		千円	補正予算	-46,680
		計		計		計	282,566
			千円		千円		千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	野生鳥獣総合管理対策事業	補助金	野生鳥獣被害対策を効果的に進めるため、個体数調整報奨金によりニホンジカやイノシシ等の農林業に被害を及ぼす有害鳥獣の捕獲に対する支援を実施 市町村等が行う野生鳥獣被害対策に対する経費的な支援を実施 地域が連携して取り組む総合的野生鳥獣被害対策を講じるための経費に対する支援を実施
2	野生鳥獣捕獲・管理事業	委託	ニホンジカによる農林業被害軽減のため、警戒心が高まり従来の方法では捕獲が困難となったシカを、効果的かつ持続的に捕獲するため、優れた捕獲技術を有する捕獲者による捕獲の実証調査を実施
3	野生鳥獣保護管理体制整備事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> 効果的かつ持続的にシカを捕獲する技術を有する捕獲技術者の育成のため、公募により育成対象者5名を選定し、知識、技術に関する講習等を実施 捕獲活動への参加推進のため、狩猟に関心はあるが実際に狩猟を行うに至らない者等を対象に、地元猟師とのマッチングや実践的な研修を実施 捕獲個体等のサンプル調査による生息数の増減や生息状況の把握、次期保護管理計画策定のためのデータ収集を実施
4	持続型捕獲モデル実証事業	委託	再生林の支障となるニホンジカの捕獲を促進するため、ドローン等のデジタル技術を活用した効率的な捕獲手法を実証し、持続可能な捕獲モデルの確立と捕獲個体のジビエフル活用に向けた取組に対する支援を実施

事業番号	10 05 02	事業改善シート（令和3年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検		
事業名	野生鳥獣保護管理事業		部局	林務部	課・室	鳥獣対策・ジビエ振興室
細事業No.	細事業名		R 1 年度 最終予算	R 2 年度 最終予算	R 3 年度 予 算	
細事業No.	細事業名		R 1 年度 最終予算	R 2 年度 最終予算	R 3 年度 予 算	
4	豚熱対策事業費				当初予算	17,500
					補正予算	-5,100
			計	86,190	計	59,873
			千円	千円		千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)			
1	野生いのししの生息環境対策を主軸とした総合的な獣害対策	直接	「生息環境対策（緩衝帯整備）」を主軸として、「侵入防止対策」、「捕獲」の3つの対策をパッケージとする総合的な獣害対策に取り組み、いのしし対策の長野モデルとして発信する			